

Freude

vol. 16-7 2022.12.21 Wed

1/4 (水) 18:30
 1/11 (水) 18:30
 1/18 (水) 18:30
 1/25 (水) 18:30

川口教会

もうすぐクリスマス！ そしてよいお年をお迎えください！

12/7現在	S	A	T	B	計	備考
継続	16	13	7	4	40	
新入団&復帰	5	3	1		9	ソプラノ見学だった方1名入られました！
見学	1	0		1	2	ソプラノ見学の方、新規1名！辞退1名。
合計	21	16	8	4	49	登録者合計。見学含まず。

休団中の仲間で歌いたい人いらっしゃるかも！「一月末までオッケー！」とお伝えください！
 クリスマスやお正月に、ぜひアナタから連絡してみてください！みんな大歓迎です！待ってるよ～！

先々週譜読みした「レクイエム、ラクリモーザの8小節、“judicandus homo reus.”まで」は、モーツァルトの絶筆として有名ですよ。

ちなみに、レクイエムの楽譜を見てみてください。

各曲のタイトルのページの五線譜の左上にちゃんと書かれています。

最初の Introitus は「Mozart」、8 ページからの Kyrie も「Mozart」 引き続いて見ていくと
 Dies irae, Tuba mirum, Rex tremendae, Recordare, Confutatis 「Mozart und Süßmayr」

Lacrimosa 「Bis Takt 8 : Mozart und Süßmayr danach Süßmayr」

Domine Jesu, Hostias 「Mozart und Süßmayr」

Sanctus 「Süßmayr」 Benedictus 「Süßmayr」 Agnus Dei 「Süßmayr」

Lux aeterna 「Süßmayr, nach Mozarts Introitus und Kyrie」

え？ラクリモーザが絶筆なのに、その先もモーツァルト生きてるやん？う～ん、モノの本によると「ラクリモーザはモーツァルトの絶筆。9小節以降はジュースマイヤーの補筆であるが、作曲は必ずしも曲順に進められるわけではないため、続く Domine Jesu, Hostias も旋律や和声など主要な部分はモーツァルトの作曲である。」とのことらしいです。しかし、ジュースマイヤーも偉かった。よお「レクイエム」の体裁にもっていきはりました。そのおかげで、こうして後世まで残ったのですから。エライ！

何はともあれ、ワタシ的には、このラクリモーザ第8小節の「homo reus」のところ、ちょっと音楽のクライマックスっぽく感じて毎回ソクゾクしちゃいます、

モーツァルトがここで、この世でのペンを置いて、天に昇ったんですね～～～

やっぱりレクイエムは、他のどのモーツァルト作品とも違う胸に迫る音楽だと感じます。

ぜひ、たくさんの方と歌いたい！

♪お誘いの夕ネを蒔こう！チラシを置こう、貼ろう、配ろう♪

ご自身が演奏会に行ったときは、ぜひ、帰りに配ってください。そのほか、行きつけの美容院や喫茶店、また、駅によっては、貼らせてもらえるところもあるかもです。(カラー版、拡大版もありますので、団長に言ってくださいね！)

次は1月4日！みんな元気で！練習したところを忘れないように！よいお年を！

12/7 練習メモ

とa1 聖マリアの祈り全部見ました。諸君ははむと...

- ラテン語をネットに拾い、こぼれご-くゴトに"と"を意味つけました。ご参考。
- 発音はリ/ク号ニユースのラテン語基本の参考。下記はまづらしい(ティカテリ?%)メモ。

Sancta Maria, mater Dei, ego omnia tibi debeo
 聖なる マリア 母 神 私 全 2 あなた(マリア)に 負, 2いませ
 「聖なるマリア様。神の母。私は全2. あなたに負, 2います」

sed ab hac hora singulariter me tuis servitiis devoveo,
 しかし ~から この 日時間 2はあなたに 私 あなた 仕える 誓, 2 捧げます
 「しかし、今から 2はあなたに 仕え、身を捧げます」

te patronam, te sospitatricem patronam eligo.
 あなたを 守護神 あなた 救済 守護神 選ぶ
 「あなたを 私の 守護神とし、救済主として 選んたのだから」

Tuus honor et cultus aeternum mihi cordi fuerit,
 あなたの 名誉 と 崇敬 永遠に 私の 心 在る, 生きる
 「あなたの 誉れと 崇敬は 永遠に 私の心ととも 在ります」

quem ego nunquam deseram
 (関係代名詞) 私 決して~ない 捨てる
 「私は 決して 貴方を 捨てること ありません」

ラテン語の
単語訳ADとコソバ!
1. (名前)は2. イヤ-2
書いてお. ちかうてた
アマン

注意!!
1/1

neque ab aliis mihi subditis verbo, verbo factoque violari patiar.
 決して~から 他人 私 服従する 言葉 言葉 (verbolにかか) 汚す
 「他のものの言葉に 従うこと ありません。あなたを 汚し苦しめるような言葉に 1いませ」

Sancta Maria, tu pia me pedibus tuis advolutum recipe,
 聖なる マリア 慈悲 私 足元 あなたに 乞う 受け入れる
 「聖なるマリア様、あなたに つかのま 私を、乞うを受け入れて下さい」

in vita protege, in mortis discrimine defende. Amen.
 ~中 生命, 生 守ります ~中 死 危機 撃退する ア-メン
 「私を 生へと 導き、死から 解き放ち お願い下さい。ア-メン」

とa2 40. **Lacrimosa** の 8小節目まで読みました (1曲目は私 2つ流して2つ
発音のメモ。

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homoreus

CとGの発音ル-ル
次の母音が...か...と...!
ca ci cu ce co
カ チ ク チェ コ
ga gi gu ge go
ガ ジ グ ジェ ゴ

↑ かなたの「ユ」よりも、ウの形を 子「イ」に似か「ウ」と 念々言う感じ。